

とうきょうすくわくプログラム 活動報告書（令和7年度）

小規模保育室ラッキーココナッツ

1、活動のテーマ

《テーマ》

音についてどこから興味を持ち、どのように関心が広がっていくのだろうか？

《テーマの設定理由》

月に2回、毎回楽しんでいるリトミック。子どもたちはリトミックの何が好きなんだろう？

2、活動スケジュール

4月から毎月2回（基本的に第2，4火曜日）、9：30～10：00リトミックを行う。

3、探究活動の実践

《活動の内容》

リトミックで楽器を通してどんな楽器があってどんな音が鳴るのかを知る。

音に合わせて子どもたちはどんな反応をするのか？

リトミックを通して子どもたちの姿に変化はあるのか？

- ・用意した楽器→タンブリン、鈴、マラカス、トライアングル、キーボード
- ・設定→広いスペースを作り、音に合わせて体を動かせるスペースを確保した

どんな楽器があってどんな音がするの
かな・・・???これは叩くのかな？

今の音はこの楽器だ！！



～リトミックの流れ～

- ・始まりの挨拶
- ・お返事はあい
- ・ピアノの音に合わせて動こう
- ・楽器の音当てクイズ
- ・『やさいのうた』『おやつをたべよう』音楽に合わせて歌おう
- ・やさいのカードでリズムあそび
- ・終わりの挨拶



この音はこれ??

知ってる！カンカン鳴るこの音はカスタネット
ト！！簡単簡単！

子どもたちの反応・・・

0歳児はリトミックで楽器の音が聞こえると不思議そうにしていた。1，2歳児の反応をみてどのように反応しているのか学んでいる姿があった。

1歳児はリトミックが始まると喜んでいて。歌は一生懸命よく聞いていた。楽器当ては当てられる時と外れる時があった。

2歳児は5種類の楽器の音を当てられるようになる。また同時に鳴らした2種類の楽器の音も聴き分けていた。



4、振り返り

1回30分のリトミックを月に2回行ってきた。0歳児はリトミックが初めてで不思議そうにしていたが、すぐに慣れて音を楽しむ姿があった。1，2歳児は昨年度もやっていたこともあり、楽しそうに取り組んでいた。リトミックでは、音に合わせて体を動かす、楽器の音を聞く、自分で音を出す、歌う、リズムを知るなどの活動があったが、子どもたちは音を聞くのも、音を出すのも嬉しそうだった。リトミックの時間だけでなく、普段の生活の中でもおまごのお皿やお鍋の蓋を叩いて音を出したり、自然の聞こえた音（風や落ち葉など）を「ガチャガチャって言うてる」「ヒョーってしてる」と言葉にしていたりと、子どもたちのそばにはいつも音があることを感じた。音が大好きな子どもたちにとって、リトミックの時間は好きな物を思う存分に楽しむことができる時間なんだと思った。保育園ではマラカスやカスタネットなど、一時的に用意したものであったので、今後はよりしっかりした本物の楽器を用意して子どもたちがより音を楽しめるようにしたいと思う。また、月2回のリトミックもいつも終わると「もう終わり??」と残念そうな姿があったので、思い切り楽器を鳴らしたり、歌を歌ったり、音を楽しむ時間を作っていき、子どもたちが音に触れる時間を大切にしていきたいと思った。